

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
2023 年度 第 6 回理事会議事録

1. 開催日時 2024 年 3 月 17 日 (日) 10:00~12:00

2. 会場 千葉県社会福祉センター3階 会議室中2

3. 出席者

会長	樽林
副会長	古澤、伊藤
事務局長	白井
事務局次長	秦野
会員理事	(総務委員会広報部会) (総合相談委員会) (研修委員会) 浅見 (ばあとなあ委員会) 四ノ宮、石橋 (司法福祉委員会) 宮下 (災害対策委員会) 服部
外部理事	中村、片山
監事	市原、岡本 (武)
相談役	渋沢
選挙管理委員会副委員長	久本真司(zoom)
欠席	山口、及川、瀧澤、松本、高橋、吉留、菅野、水野、竹嶋

敬称略

4. 議題

(1) 会長と三役会からの報告

- ・代議員選挙について (副委員長)
- ・事務局体制について
- ・能登半島地震における対応 (団体寄付) について
- ・関東甲信越ブロック協議会 (令和6年2月3日) について
- ・県受託 意思決定専について

(2) 議事

- ・新入会員の承認について
- ・2023 年補正予算
- ・2024 年事業計画
- ・2024 年度予算
- ・ばあとなあ

① 名簿登録規程の改正

② 委員長・副委員長の手当について

③ 運営規程の改正

・司法福祉マッチング支援要綱の改正

(3) 各委員会報告事項に対する質疑

5. 議事録

○ 出席者の確認

事務局次長

過半数以上の出席を認め、本理事会は成立すると報告する。

○ 会長挨拶

おはようございます。本日は事業計画や予算など大事な議事がある。事務局体制も変わる。しっかりとご審議いただきたい。

(1) 会長と三役会からの報告

○ 代議員選挙について（副委員長）zoom 参加

説明：選挙管理委員会副委員長

11月6日から30日まで立候補受け付けたが定数に達しなかったため1月11日から31日まで再公示を行った。定数54名のうち13名の立候補があった。2月3日管理委員会を開催し13名について資格要件の確認を行い、特に問題がないことから全員が選任された。発表は次回広報誌で行う。

→選挙管理副委員長退出

議長

地域集会も活発になってきたのでその中でもはたらきかけてもらいましょう。また各地域でも声かけをお願いします。メールで情報提供しながら進めましょう。

監事

定数が満たせない状況が続いている。見直しを検討したほうが良い。

事務局体制について

説明：事務局長

1名定年となるが決算等引継ぎもあるため6月末で退職となる。派遣職員2名中1名は常勤移行し、1名は3月末で終了となる。新しい税理士と契約しシステムの導入により業務の省力化を図る。

○ 能登半島地震における対応（団体寄付）について

説明：会長

他県の状況も踏まえて10万円寄付することとした。

○ 関東甲信越ブロック協議会（令和6年2月3日）について

説明：会長

東京で対面にて開催した。千葉は新入会員増えているようだ。年2回集まっていく。

○ 県受託 意思決定支援研修について

説明：伊藤副会長

2月19日 障害福祉の相談支援専門員向け研修を行った。50名ほど参加し終了証を発行した。

(3) 議事

○ 退会

2名の退会について承認を求める。

→1名ずつ挙手を求め、賛成多数により2名の退会が認められた。

○ 新入会員の承認について

1名の新入会員の承認を求める。

→賛成多数により1名の入会が認められた。

○ 2023年度補正予算

説明：事務局長

実績を踏まえ事務局で作成した。会員費53万減額の他40万円前後の増減があったが他に大きな事業費の変更はない。事務費の96万支出が増えた。消耗品、委託料(派遣)が増え賃金等は減った。

議長)

各委員長に尋ねても返答はなかったが未執行の事業はなかったか。25万円の赤字削減となった。決算との差異は前々からの問題なので把握しておいてほしい。

研修委員長)

県民公開講座を長らく開催していない。補正で削った。

議長)

資料のとおり、2023年度補正予算をご承認いただけるかたは挙手をお願いする。

→賛成多数により2023年度補正予算は承認された。

○ 2024年度事業計画

説明：事務局長

事務局機能強化、談話室廃止などが主だったところである。重点事業にソーシャルワークの実践力・指導力を高めること、ICT活用、災害対応も掲げてある。ソーシャルワーカーカフェが談話室の替わりになる。研修委員会では倫理綱領と地域共生社会実現の研修が新規で加わった。和洋女子大および淑徳大学受験対策講座は次年度開催しないことに決まり削除となった。

議長)

資料のとおり、2024年度事業計画をご承認いただける方は挙手をお願いする。

→賛成多数により2024年度事業計画は承認された。

○ 2024年度予算

説明：事務局長

会費収入は80名前後で計算した。福祉職交流でソーシャルワーカーカフェ新設、研

修委員会と和洋女子大の資格取得支援講座 0 円、新規研修分の収入支出追加、事務局の常勤 3 名パート 2 名、税理士法人契約、租税公課 70 万円、繰越金 240 万円と雑収入で調整した。研修委員会の県民公開講座 3 万円計上していたが、先ほど削除と聞いた。

(質疑)

- ・ 県民公開講座は 10 年ほど開催していない。削除とさせていただきたい。
- ・ 県民に向けての姿勢としてどうか。大事ではないか。
- ・ 直轄事業か総務委員会事業でどうか。
- ・ あり方検討会の報告では、公益的の事業に取り組むことは当会の責務でもあり消極的になってはいけないとある。

議長)

では、県民公開講座を残し資料のまま 2024 年度予算の承認をお願いします。

→賛成多数により 2024 年度予算は承認された。

○ ばあとなあ

説明：委員長

前回の理事会で方針はご理解いただいて詳細を詰めてきた。昨日の全体会でも反対意見はなかったが最終案に至っていない。副委員長を増やし手当を付けたい。委員長、副委員長レベルで多くの連絡があり常に動いている。登録員から、事務員から、関係機関からそれぞれ月 20～40 件ある。トラブル対応もある。事務員 1 名で支部もないまま大変な業務量である。報酬の財源は登録料からとした。

(質疑)

- ・ 登録員は 2 週間以内に意見を述べるができるかとあるが、どこへか。
 - ・ ・ ・ 検討する。
- ・ 登録は 1/2 の賛成、削除は 2/3 の賛成となっている。統一されていない。委員長採決もない。
- ・ フローチャートを入れ本会の苦情に関する手続きとの整合性を付けてもらいたい。
- ・ 仕事量が莫大なのはわかった。仕事を分散すればどうか。
 - ・ ・ ・ 分担すべきだがやり手、担い手がない。
- ・ 本会の報酬規則とは別にばあとなあ運営規程に報酬を入れていいか。問題がある。

議長)

まずばあとなあ千葉の運営規定を改正し副委員長 3 名にすることについて承認を求める。

→賛成多数によりばあとなあ千葉運営規程の改正は承認された。

議長)

報酬については千葉県社会福祉士会の報酬規則に入れる必要がある。総会へ上程をお願いします。

○ 司法福祉マッチング支援

説明：委員長

すでに条文中の規則自体がなくなっている。規程からも削除する。
では、司法福祉マッチング支援要綱の改正に賛成の方は挙手をお願いします。
→賛成多数により承認された。

(3) 各委員会報告事項に対する質疑
議長)

各委員会報告事項に対する意見はあるか。
松戸事業について
職員1名が3月末で退職する。今後あり方も検討していく。

以上、他にご意見等なければこれで閉会とする。
12時01分閉会。